



2025年2月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本塩町 2-11
THE YMCA 神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町 2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上 真二
編集/本部事務局
印刷/南わかばやし印刷

YMCA News



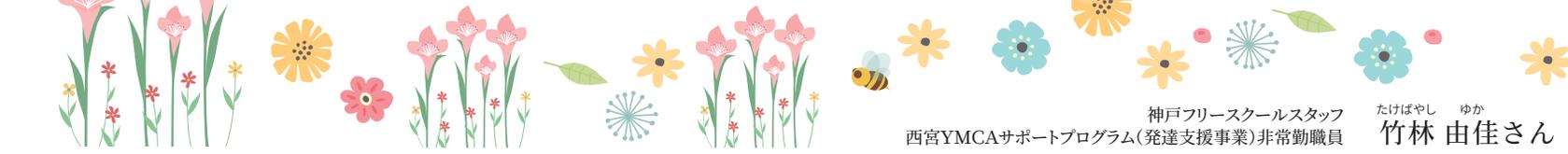
年間聖句

「平和を造る人々は幸いである。」
マタイによる福音書5章9節(聖書協会共同訳)



～ピンクシャツデーに寄せて～

大人の柔軟性が問われるとき



神戸フリースクールスタッフ たけはやし ゆか
西宮YMCAサポートプログラム(発達支援事業)非常勤職員 竹林 由佳さん

みなさんの身近に、学校に行きづらい子はいますか？あるいは知っていますか？

不登校の子どもが増え続けているのは、みなさんもニュースで見たりするなどして、ご存知だと思います。

フリースクールにいと、いろいろな子どもが居場所を求めてやってきます。そして、学校に行きづらくなった理由をそれぞれに尋ねると、実にさまざまなこたえが返ってきます。部活動での人間関係、先生との関係、クラスメイトとの関係、学習の難しさ...さらにこの頃は、学校という空気そのもののしんどさを感じている子が増えているように思います。そんなしんどい状況の中でギリギリまで頑張っている、頑張った結果、ポキンと心が折れてしまうのです。折れてしまうと、それを修復するには、かなりの時間を必要とします。

そしてその修復作業は、子ども本人にとって安心安全な場所で行えるといいでしょう。安心安全が確保されるなら、おうちでもいいし、フリースクールでもいいし、それ以外の場所でもいい。わたしはフリースクールにおりますから、フリースクールで修復していくお手伝いができればいいないつも思って子どもたちと活動しています。

うちのフリースクールには、小学生～高校生の異年齢の子どもたちが集まいます。“学校には合わない自分”という共通のベースがあるためか、彼らは互いの関係をとても緩やかに築くことができます。わたしから見てると、距離感もとてもいいです。近すぎず、遠すぎず。また、年上の子たちは、年下の子たちにとってのロールモデルとなり、年下の子たちはいずれやってくる自分の成長の道筋を年上の人たちに重ね合わせているようにも思えます。

子ども自身が学校に行けない自分を受け入れていくのは、おそらくとてもしんどいものだろうと思います。どうしてみんなと同じようにできないのか、同じよう

にできなくなった自分はどうなるのか...学校に行けなくなった途端に、真っ暗闇の中に取り残される感じ。でも、そんなことになる前に、(学校に行けないのは)自分だけじゃないんだ、学校に行けなくても生きていけるんだ、ということをしてだけ早いうちに知っておくのがいいと思います。

では周りの大人はどうすればよいのか。学校に行くことは、子どもの育ちに必須ではありません。わたしたちは、自分の生きてきた道しか知りませんから、つい自分と同じような道を子どもたちにも求めてしまいがちです。わたしたちに必要なのは、目の前の子ども様子を肯定的に受け止め、「こういう選択もありなのかもしれない」という柔軟性を持つことではないでしょうか。大げさに受け止めて、自然体でいてほしい、というのがわたしのそばにいる子どもたちの声です。



ピンクシャツデーに対する思い

国際委員会

神戸キリスト教青年会国際委員会では、ピンクシャツデーを「ピンクシャツデー=いじめをなくそう」の構図ではなく、「違っていいんだよ、違って面白いよ」とYMCAにつながる人たちに伝えていこうという思いを持って発信しています。私たちは、違いを見つけたとき、相手を責めるのではなく、違っていいんじゃない? と伝えられる人でありたいです。多様化する社会を恐れず、違いを認め合い、互いを高め合うことのできる前向きな人を、皆さんと一緒に育てていきたいと考えています。



灯台 Light House

No.45 (最終回)

総主事 井上 真二



後でわかる愛と奉仕

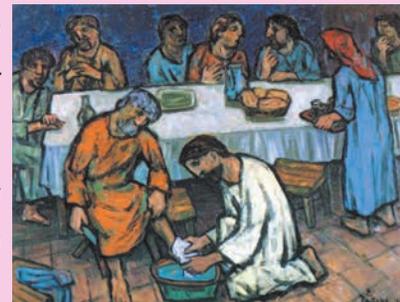
神戸YMCA創立百周年の翌年の1987年、一世紀を祝う記念式典や行事の余韻が冷めやらぬ時に私は入職しました。田中忠雄画伯の「弟子の足を洗うキリスト」を用いた百周年記念ポスター、絵葉書や写真盾を館内のいろいろなところで目にしました。三宮会館の山側の玄関を入ると右手にチャペルがあり、その扉の上に、この重厚な絵がかかげられていたことを記憶しています。この絵の聖書の箇所について、神戸教会の岩井健作牧師(当時)が百周年式典で次のようにふれています。

キリストに自分の汚れた足を洗われている弟子ペテロが、その意味がどういうことかよくわからないと申します。するとキリストが「私のしていることは、今あなたにはわからないが、後でわかるようになる」、このように答えています。(中略)他の人々の汚れた足を洗うような愛と奉仕をなささいという倫理へのうながしに受けとられがちですが、実はそうではありません。人に仕える愛や奉仕は、後になって新しい意味をもつもの

だという、キリストの愛そのものを伝えています。そこにはまた、神戸YMCAの第二世紀への営みが、「後でわかるような愛と奉仕」に本当に徹しきれるのか。そのことを証した先人たちを、源流として見つめつつ、さらにキリストの愛という根源を心に刻むことができるのか。そのような課題と問いを投げかけているような気がいたします。(『神戸とYMCA百年』より)

1980年12月のクリスマス晩餐会でチャペルにかかげられたこの絵が、老朽化した会館の建て替えの後、現在の三宮会館チャペル内に無事に移設を終えた際はとても安堵しました。神戸YMCAの130有余年の歴史において、あらゆる時を先人の知恵と祈りや愛と奉仕の精神で乗り越えてきたこと、それを次世代につなげる使命と責任を強く感じました。

私はこの3月末で10年間務めた総主事を退任いたします。これまでの励ましに心から感謝を申し上げます。時代は大きな転換期を迎えています。これからも神戸YMCAの歩みにご支援とご協力をお願いいたします。



総主事交代のお知らせ

井上真二が10年間にわたり総主事および公益財団法人専務理事、学校法人理事長、社会福祉法人理事長を務めてまいりましたが、3月31日を以って退任し、4月1日付で、小澤昌甲が就任いたします。

神戸YMCAベルワイアー クリスマスコンサート



神戸YMCAベルワイアーの32回目となるクリスマスコンサートを、去る12月23日(月)、神戸朝日ホールで開催しました。当日は300名ほどの方が来場され、盛況のうちに終わりました。

クリスマスの名曲からアメリカの作曲家のユニークな曲まで、およそ13曲を演奏しました。心あたたまる・

コンサート担当職員 横山 徹太郎

心が豊かになるハンドベルの音色に包まれた、クリスマスの楽しいひとときとなりました。

今年も12月23日(火)にコンサートを実施予定です。ぜひ、クリスマスのご予定に加えていただければと思います。

第9回 みんなのクリスマス ~音楽会&作品展~ ウエルネスセンター学園都市

ウエルネスセンター学園都市では2016年から毎年メンバー主催のクリスマスチャリティーイベントを実施しています。共に汗を流している運動仲間の知られざる特技や趣味を共有する場所であり、したい何かが見つかり、誰かとつながり、みんながよくなるかけがえのない場所です。

今回も絵画、裁縫などの力作が並んだほか、音楽会では初出演の皆さんとの新たな出会いがありました。神戸YMCA混声合唱団くさぶえ、アンサンブルPOCO(ピアノ・フルート・エアロフォン)、Jeans Hiro(クロマティックハーモニカ・ウクレレ)、流通科学大学和太鼓部の皆さんです。多種多様な音楽を楽しみ、「みんなで歌おう♪」のコーナーでは、くさぶえとアンサンブルPOCOさんのコラボレーションも実現! みんなで「しあわせ運べるように」を歌いました。

寒い日でしたが、会場には80名余りのメンバーや地域の方が集まり、熱気に包まれました。「老若男女、和気あいあいといい感じのコンサートになったね」と、出演者も来場者も笑顔の絶えない時間となりました。当日集められた募金は全額を能登半島地震支援に捧げます。



神戸YMCA学院専門学校ホテル学科 創立60周年 専門学校ホテル学科

神戸YMCA学院専門学校ホテル学科は2024年に創立60周年を迎えました。11月6日(水)、ANAクラウンプラザホテル神戸で式典と祝賀会が執り行われ、約100名の出席者がありました。

在校生たちは、受付や来賓・卒業生のアテンド、アピールタイムや実習報告、司会進行などを務めました。名刺を用意し、来場者の皆さまと名刺交換をして言葉を交わすなど、緊張しながらも良い交わりの機会となりました。出席者の中には1期生の方も複数名いらっしゃり、創立当時の話に花が咲きました。

これからも本校がサービス業界に新たな価値をもたらす続け、100周年に向けての礎を築き、「世界に通用するホスピタリティ」を備えた人材を送り出し続けることを祈ります。

また、今回の開催にあたり多大なるご協力をいただいたANAクラウンプラザホテル神戸様、ホスピタリティ業界関係の皆さま、卒業生の皆さまに厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。



R E P O R T

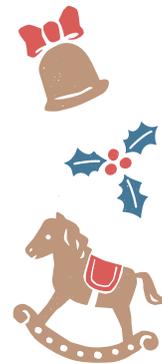
神戸YMCAちとせ幼稚園

クリスマス

幼稚園では毎年11月後半からクリスマスの準備が始まります。いつも私たちのことを見守ってくださる神様からの贈り物・イエス様がお生まれになった日だというクリスマスの本当の意味を、子どもたちは知っています。今も世界中でたくさんの人たちがお祝いをしているのは、イエス様が神様の子もだからだ！といつも子どもたちと話をしています。この出来事をみんなに伝えよう！と年長組が聖劇でクリスマスの出来事を伝えます。今年も立派に、メッセンジャーとしての役割を成し遂げました。

毎週礼拝で聖話を聞かせてくださる日本基督教団鈴蘭台教会の柳本和良先生のお話を紹介します。「クリスマス物語の登場人物の誰が欠けてもクリスマスは来なかった。こうしてみんなでお祝いすることもできなかった。今もみんながいるおかげで、クリスマスの喜びが大きくなっていくんだよ」とお話しくださいました。

子どもたち一人ひとりがかけがえない存在であり、みんなが神様からの贈り物なのだと感じられるひとときでした。誰もが大切にされ、心豊かに育つことで、平和な世界へつながっていくことを願います。



神戸市立太山寺児童館

中高生も利用できる児童館

「児童館(こどもっとひろば)」と聞くと、乳幼児さんの遊ぶ場所、学童保育を行っている場所というイメージを持たれる方が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし児童館は「0歳から18歳まで」利用可能な施設です。最近の太山寺児童館には、中学生がよく遊びに来てくれます。

自分たちのしたい遊びをする以外に、学童の子どもたちと遊んでくれることもあります。学童の子どもたちに「〇〇ちゃんが来てる！あそぼ〜！」と言われて一緒に遊んだり、時には「今日は〇〇ちゃん来てる

の？」と学童の子どもたちと遊ぶために中学生が来てくれることもあります。

これからの児童館は、中高生にとっての居場所となることも求められていきます。したいことがあるから児童館に行くことも大切ですが、仮にしたいことがなくても近くにある児童館へ行き、そこで人とつながりながら、したいことを見つけ、自分にとって居心地の良い場所にしていける。そんな「居場所」を中高生、地域の方々と共に作り上げていくことができればと思います。



インターナショナル・チャリティーラン開催

11月4日(祝・月)に、しあわせの村にて「第26回神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2024」を開催し、無事に終わることができました。今回は「YMCAインターナショナル・チャリティーラン全国大会委員長」に就任されたパリ2024パラリンピック競泳メダリストの富田宇宙^{うちゅう}さんも参加され、大会を盛り上げてくださいました。

今年度も午前中のみで開催で、「1/10マラソン」「1.2kmウォーキング」「1/100マラソン」の3競技を行い、361名の参加がありました。オリンピックをモチーフにした衣装や、お姫様、チャリティーラン名物と

なっている「なすび」の扮装など、さまざまな仮装での参加があり、ランに参加された方、応援される方、ボランティア、ユースリーダー、ワイズ、スタッフを合わせると、500名ほどの方々がこの大会をお支えくださいました。

多くの皆さまのご協力とご支援で、障がいのある子どもたちを応援できることを心より感謝申し上げます。チャリティーランの収益は全国のYMCAで、心身に障がいのある子どもたちの支援のために用いさせていただきます。

チャリティーラン実行委員会担当主事 間 勝也



こくさいのまど

街頭募金活動

2024年12月8日(日)、大丸神戸店前にて街頭募金活動を行いました。皆さまのご理解とご協力により、60,946円もの募金が集まりました。街頭募金活動にご協力いただき心より感謝申し上げます。

当日は31名の方々にご参加いただき、街頭でYMCAの国際協力募金をアピールしてきました。参加者の年齢は3歳からシニアまで。国籍は日本・ミャンマー・インドネシア・中国・台湾。街頭に立っていた私たちのグループを一言でカテゴライズするなら、「小さな社会」だったのではないのでしょうか。「ミックスなグルー

プ」×「国際協力募金」×「YMCA」。この3つのキーワードで今年も多くの方々に街頭で募金をいただくことができました。

参加者のコメント

こども「お金を入れてくれてうれしかった。ミャンマーのお姉さんと一緒に募金の活動をしました」
高校生「自分が受けている奨学金は、たくさんの人に支えられていることがわかった」
ミャンマーからの留学生「自分の国も世界の国々も平和になることを心から願っている」



YMCA STORY

私の今までとこれから

私はこれまでに5カ国6都市で生活してきました。多様な文化に触れながら成長してきた中で、初めてYMCAと出会ったのは、小学校低学年の夏に日本に一時帰国した際に参加したYMCAのキャンプでした。

親の転勤が多かったため新しい国への移動が当たり前だった私は、友達を作ってもいつか別れが来ることを予感し、友達作りどころか消極的になっていました。しかしYMCAのキャンプでは仲間と協力し合い、同じ目的に向かって困難を乗り越える中で、すぐに友達を作ることができました。その数日間は私にとってかけがえのない思い出となり、今でも鮮明に心に残っています。

キャンプの後に私は再び別の国に引っ越し、その後YMCAとの接点はしばらくありませんでした。しかし転機が訪れたのは数年後、新型コロナの影響で日本に本帰国することとなり、母の実家がある神戸に移り住んだときでした。いざ学校に通い始めると、授業の進行方法や環境の違いに戸惑い、不安と葛藤の日々が続きました。そんな中で私は自分の過去の経験を振り返り、私だからこそできること

ユースプラザ KOBE・EAST ユースボランティア 岡田 芽衣 さん
 は何かを考えました。その結果、私の特殊なバックグラウンドと英語能力が、他の人々に貢献できる大きな強みだと気づきました。

その強みを生かせる場所として、ユースプラザの「English World」に出会いました。English Worldでは、年中から小学生までの子どもたちが、外国人講師と一緒にさまざまな活動を英語で行っています。私はその取り組みに強く惹かれ、学生ボランティアとして参加しました。子どもたちと共に英語を楽しみながら、リーダーが考えた活動を進める中で、やりがいや楽しさを感じることができました。

その後、YMCAがユースプラザを運営していることを知ったとき、驚きと共に小学生の頃に参加したキャンプの楽しい記憶が鮮明に蘇りました。関わり方は異なっていたものの、10年以上の時を経て再びYMCAにつながることでできたその瞬間、何か運命的なものを感じました。

現在高校3年生として将来に向け歩み始めた私は、YMCAで得た経験とその思い出を胸に、世界に羽ばたいていきたいと考えています。

ワイズコーナー

夢はお持ちですか？

神戸学園都市クラブ会長 杉本 隆人 さん

あなたは、いくつ夢をお持ちですか？ 私は、年を重ねると共に、夢をみることを忘れて過ごしていることに気づきました。ある研修会で、夢を100ほど列記してくださいと言われて書き始めたのですが、10以上は書けませんでした。

いかに夢を見るのか、そのヒントを提案してみたいと思います(一つの考えかたであり、絶対ではないことを前提としてください)。

夢を計画する前に、5つのM【Man(人間関係など)、Machine(家、車など)、Material(衣類や書籍などの持ち物)、Money(お金)、Method(知識、経験など)】の観点から、自身の現状を把握しておきます。自身の強みと弱みを知り、強みをより強靱なものに、弱みを強みにできる夢を考えたら、いつまでにその夢を叶えるのかも考え、夢リストを作成します。夢と自身の現状があまりにも乖離しすぎないように作ってみましょう。

まずは、夢を持つことからスタートしましょう。仲間と夢を共有することが、夢を叶える最大の近道かもしれません。自分の夢がみんなの夢となり、共に支え合いながら夢を叶えられるかもしれません。あなたの夢、神戸YMCAの夢を、みんなで考えていきましょう。



キッズプログラム新年度(2025年度)新規会員募集のお知らせ

受付開始	各地域のYMCA	プログラム
2/8(土)	ファミリーウエルネスセンター(神戸市中央区・灘区)	水泳、体操、幼児体育、バスケットボールなど
	西宮ランチ(西宮市)	バスケットボール
2/12(水)	キャンピングサービスセンター(神戸市中央区・西区、西宮市)	デイキャンプ
	西神南センター(神戸市西区)	バスケットボール、体操、親子体育
	ウエルネスセンター学園都市(神戸市西区)	水泳、体操、サッカー、ダンスなど
2/17(月)	須磨センター(神戸市須磨区)	バスケットボール、体操

詳しくは各ランチ・センターのホームページをご覧ください。

会員様向けの新しいシステム(Y-Link)について

神戸YMCAでは、会員様の利便性向上、より充実したサービス提供のために、2025年度夏の受付から新しいシステム(Y-Link)を導入いたします。

新システムの詳細および導入に伴う手続きにつきましては、3月上旬頃にご案内いたします。



感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同) (前号掲載以降～12/12まで)

寄附

中山 麻夫、井上 和彦、檜山 和司、尾上 尚司、野村 郁美、本城 智子、有限会社井上ビル、神戸ワイズメンズクラブ、神戸ポートワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ

子ども奨学金

田中 邦康

チャリティーラン

松田 道子、大野 勉、大野 智恵、井出 浩、井出 富光子、進藤 啓介、中道 基夫、中道 京子、山根 泉、北島 伸三、佃 治子、井上 真二、中田 杉子、齊藤 靖、青柳 美知子、間 勝也、岩井 義矢、美崎 晋、サンヨー環境株式会社、神戸ワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、西神戸YMCA幼稚園園児、家山 華子

能登半島豪雨緊急支援募金

中田 杉子、家城 耕一、小澤 昌甲、松森 正樹、岩井 義矢、山田 忍、櫻井 正人、宗教法人(単立) 芦屋キリスト教会、西神戸ランチワイックラブ(夏祭りバザー)、社会福祉法人神戸YMCA福祉会

国際協力募金

松田 道子、橋本 唯、熊谷 親啓・郁子、社会福祉法人聖ミカエル福祉会聖ミカエル北野園、西宮YMCA子どもカーニバル、YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝献金、カレッジ日本語学科学生有志、Pray for 思いやりの輪を広げる

学生生活支援募金

小田 浩

この他にも、多数の寄附・募金をいただいております。感謝をもってご報告いたします。

神戸YMCA 遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要なとされる活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

神戸YMCAの願い

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202	西神南YMCA	☎078(993)1560	学園都市YMCA保育ルーム	☎078(794)3045
ランゲージセンター	☎078(241)7204	須磨YMCA	☎078(734)0183	ユースプラザKOBE・EAST	☎078(891)8222
専門学校	☎078(241)7203	YMCA保育園	☎078(794)3901	神戸市立太山寺児童館	☎078(794)4790
西宮YMCA	☎0798(35)5987	西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992	こべっこあそびひろば西神中央	☎078(964)5808
余島野外活動センター	☎0879(62)2241	西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011	神戸市立たかとり児童館	☎078(735)6230
キャンピングサービスセンター	☎078(241)7216	神戸学園都市YMCA子ども園	☎078(791)2955	YMCA保育園おひさま分園	☎078(794)4080
国際・奉仕センター	☎078(241)7204	神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542	おやこふらっとひろば西	☎078(939)4530
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401	YMCAちとせ保育ルーム	☎078(786)3821	西宮市香榎園留守家庭児童育成センター	☎0798(33)0214
西神戸YMCA	☎078(793)7402	西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705	西宮市用海留守家庭児童育成センター	☎0798(35)1522
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435	西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016	西宮市浜脇留守家庭児童育成センター	☎0798(34)1444
YMCAおひさま	☎078(793)9077	あかしこども広場	☎078(918)6355		

